

NIID National Institute of Infectious Diseases | Infectious Disease Surveillance Center

平成29年度大阪府感染症対策審議会 麻しん及び風しん対策部会
 日時：平成30年1月25日(木) 15:00~16:30
 場所：エル・おおさか（大阪府立労働センター）南館 4階 会議室B
 （大阪市中央区北浜東3-14）

国の風疹排除に向けた取組

国立感染症研究所 感染症疫学センター
 多屋 馨子（たやけいこ）
ktaya@niid.go.jp

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases | Infectious Disease Surveillance Center

風疹

3つの主な症状：

- 発熱
- 淡紅色紅斑
- 耳後部、後頭部、頸部リンパ節腫脹

- 3症状がそろわないことがよくある。
 - 大人がかかると関節痛・関節炎を認めることが多い（2013年の流行では、報告患者の約20%に関節痛・関節炎）
 - 風疹ウイルスに感染しても症状が出ないことが15~30%（~50%）程度ある（不顕性感染）。




風疹による発疹
 国立国際医療研究センター 忽那先生提供


風疹による発疹・耳介後部のリンパ節腫脹
 川崎市健康安全研究所岡部信彦先生提供

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases | Infectious Disease Surveillance Center

風疹ウイルスと感染

- 潜伏期間：2~3週間
- 感染経路：飛沫感染・接触感染
- ウイルスの排泄期間：発疹出現前1週間と後1週間



風疹ウイルスの電子顕微鏡写真（加藤茂孝博士）

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

厚生労働省

妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんが「先天性風しん症候群」になる確率

妊娠1カ月で **50%以上**

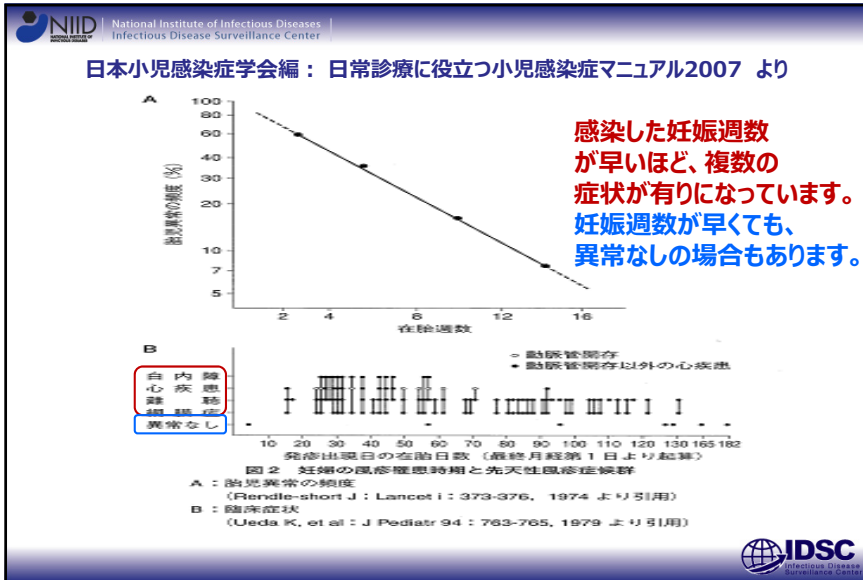
妊娠2か月：35%
 妊娠3か月：18%
 妊娠4か月：8%
 （加藤茂孝先生：感染症の話より）

1 妊娠初期の女性は「風しん」の予防接種をご検討ください。
 2 成人男性は「風しん」の予防接種をご検討ください。
 3 妊娠中の女性の家族は「風しん」の予防接種をご検討ください。

予防接種の必要性は、抗体検査でわかります。
今、未来を想うカタチ。風しんの抗体検査。

【お問い合わせ先】 厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口 TEL.03-5276-9337
 受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日、年末年始を除く）

IDSC Infectious Disease Surveillance Center



NIID National Institute of Infectious Diseases Infectious Disease Surveillance Center

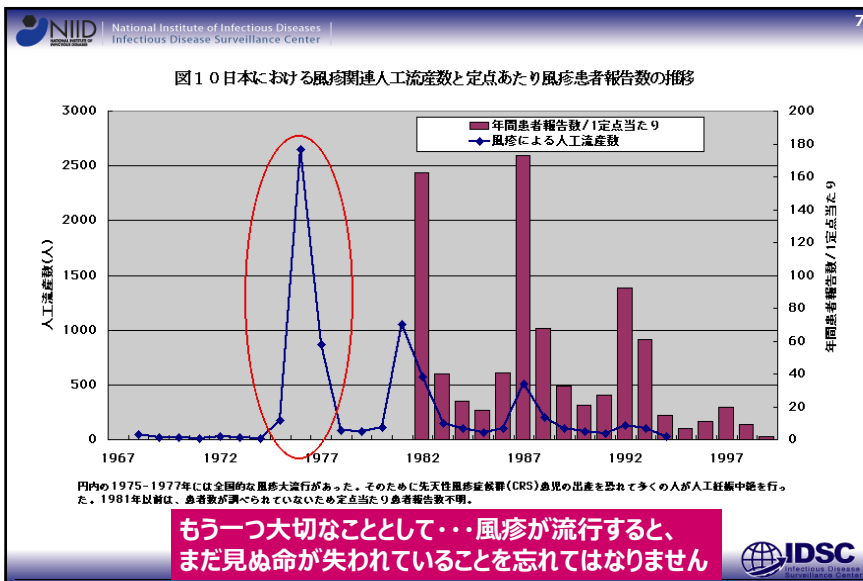
表1 先天性風疹症候群の臨床像

カテゴリー	しばしばみられる症状	まれにみられる症状
出生時にみられる	低出生体重 血小板減少性紫斑病 肝腫大 脾腫大 貧血 急性性聾聵 末梢性肺動脈狭窄 肺動脈弁狭窄 動脈管開存 心室中隔欠損症 網膜症 白内障 小眼球症 精神運動発達遅滞 停留精巣 臍径ヘルニア 糖尿病	角膜炎 肝炎 全身性リンパ節腫脹 溶血性貧血 肺炎 高度の近視 甲状腺異常 掌紋異常 緑内障 心筋障害
一過性		
永久的		
遅発性	末梢性肺動脈狭窄 精神発達遅滞 中枢性言語障害 糖尿病 免疫複合体病 低ガンマグロブリン血症	高度の近視 甲状腺炎 甲状腺機能低下 成長ホルモン欠損症 慢性発疹 肺炎 進行性全脳炎

Banatvala JE, Best JM, Rubella. In: Brown F, Wilson R (eds) Topley and Wilson's Principles of Bacteriology, Virology, and Immunity, vol.4, 7th ed. London, Edward Arnold, 1984, pp 271-302 引用改変

Maldonado YA. (2012): Rubella virus. In: Principles and Practice of Pediatric Infectious Diseases (4th ed.); Long SS, Pickering LK, Prober CG (Eds). Elsevier, Churchill Livingstone. より引用翻訳

IDSC Infectious Disease Surveillance Center



NIID National Institute of Infectious Diseases Infectious Disease Surveillance Center

8

風しんに関する特定感染症予防指針
(平成二十六年三月二十八日)
(厚生労働省告示第百二十二号)
(平成二十九年十二月二十一日 一部改正)
(平成三十年一月一日 適用)

第一目標

- 早期に先天性風しん症候群の発生をなくすとともに、**平成三十二年度(2020年度)までに風しんの排除を達成すること**を目標とする。なお、本指針における風しんの排除の定義は、麻しんの排除の定義に準じて、「適切なサーベイランス制度の下、土着株による感染が一年以上確認されないこと」とする。

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

9

風しんに関する特定感染症予防指針一部改正 2018年1月1日適用

- 風疹と診断したら氏名、生年月日、住所、職業等を含めて、保健所に**直ちに届出**！
- **1例発生したらすぐ積極的疫学調査**！
- 原則として、**全例の検査診断**！（地方衛生研究所でPCR法等による風疹ウイルス遺伝子の検出と遺伝子型検査）

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

10

風しん発生届の改訂

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

11

風疹に関するガイドライン

1. 医師による風しん・先天性風しん症候群届出ガイドライン（第1版）（2015年3月27日）
2. 都道府県における麻しん風しん対策ガイドライン（2016年6月3日）
3. 風しん発生時対応ガイドライン（2015年3月3日）
4. 医療機関における風しん対策ガイドライン（2014年4月1日更新）
5. 職場における風しん対策ガイドライン（2014年4月1日更新）

赤字は改訂作業中

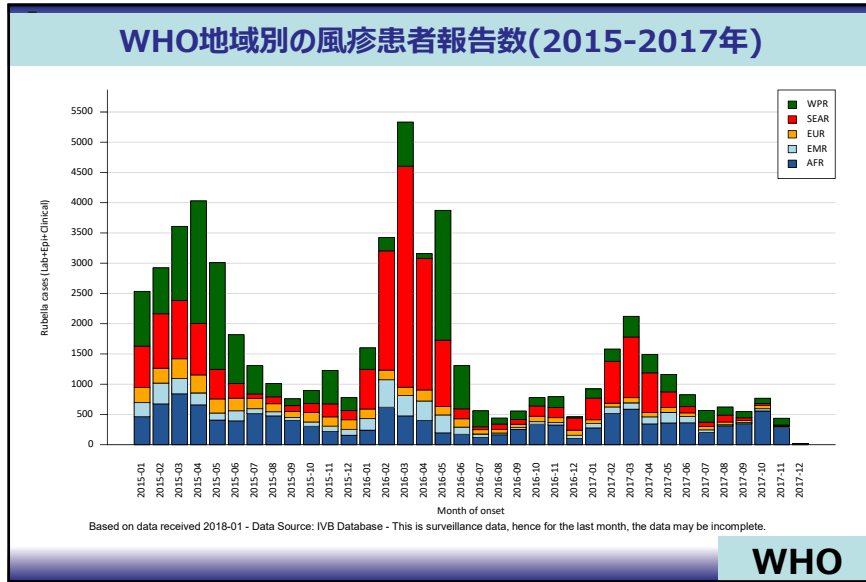
IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

2月4日は“風疹（ゼロ）の日”—『“風疹ゼロ”プロジェクト】—を進めましょう

風疹にご注意！ わが国では風疹流行のリスクは いまだに消えていません！

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

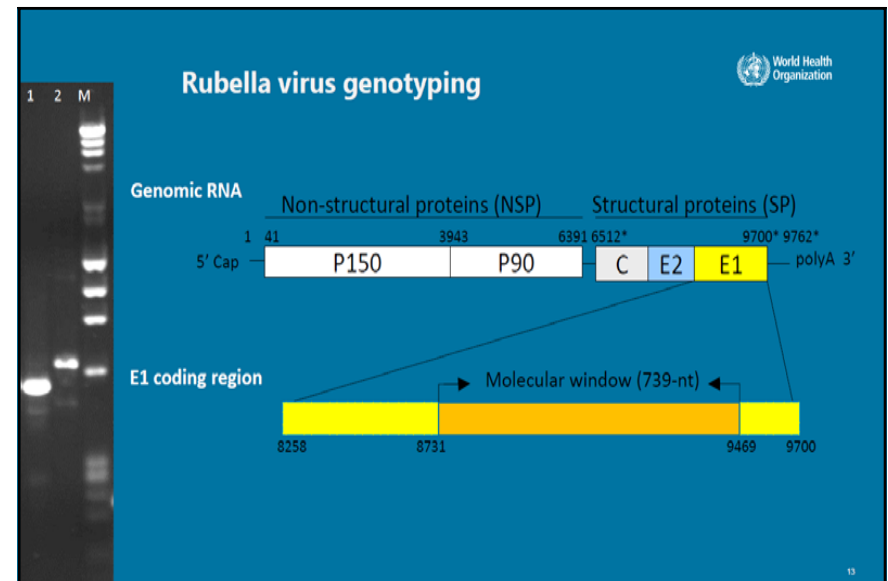
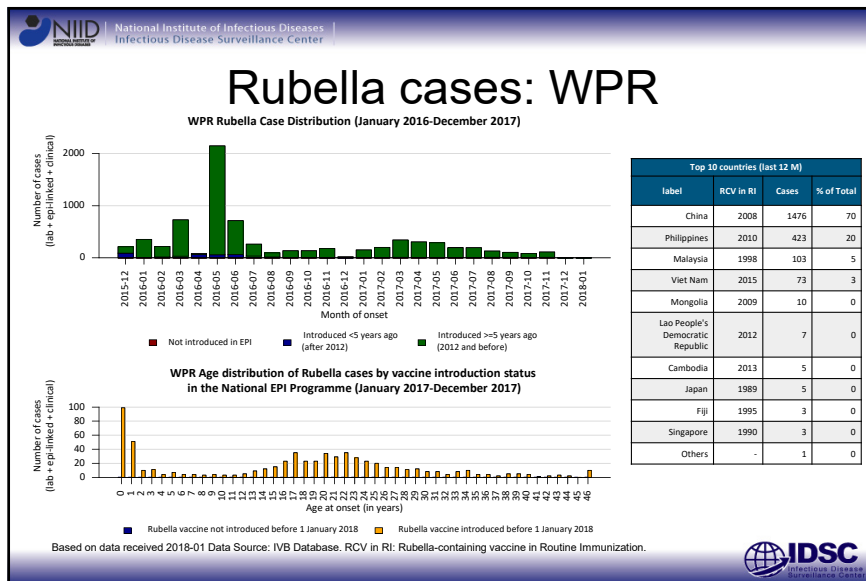


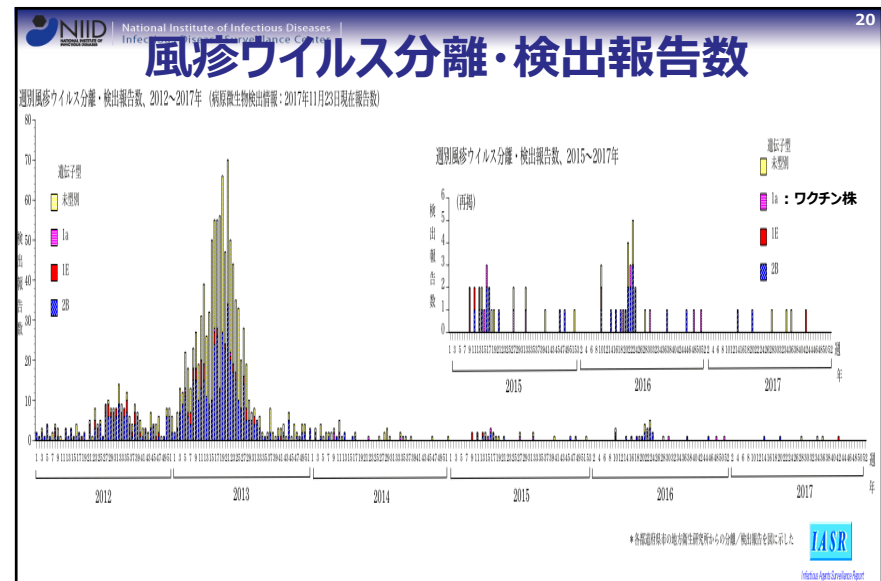
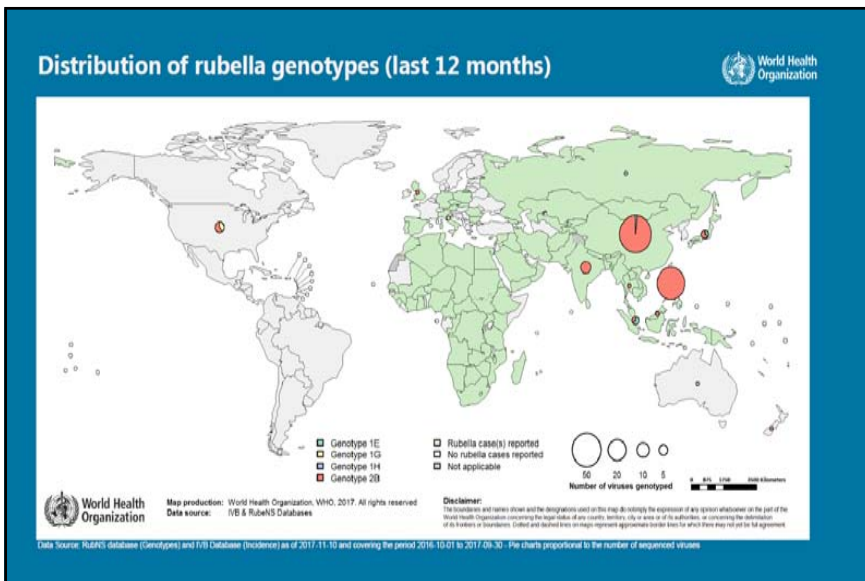
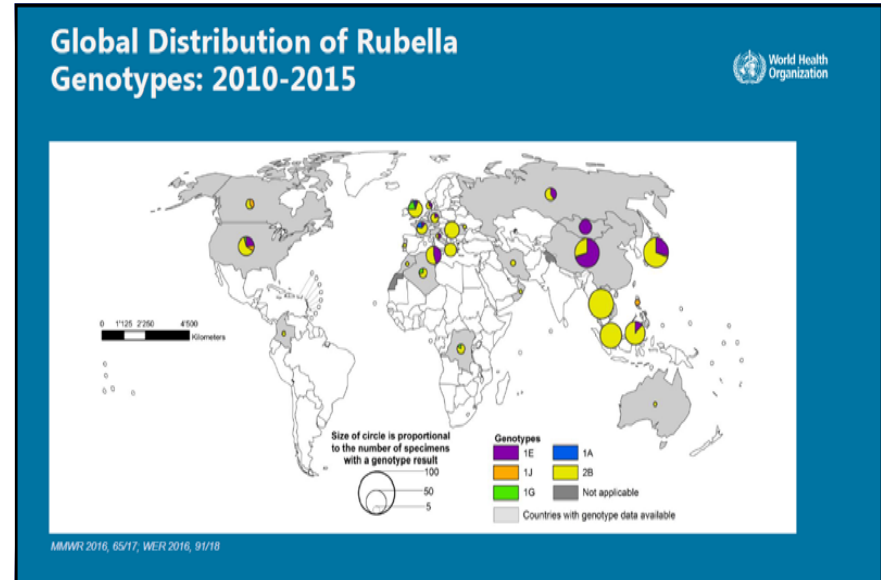
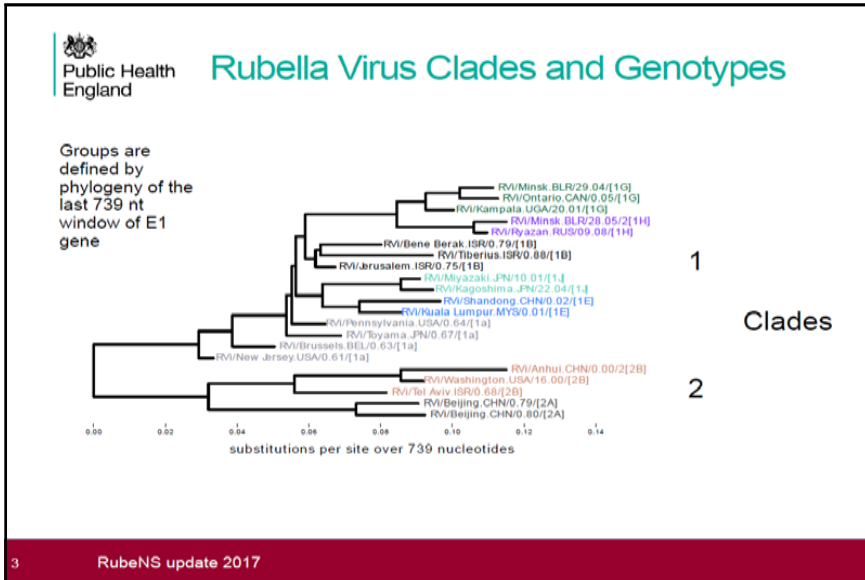
NIID National Institute of Infectious Diseases Infectious Disease Surveillance Center

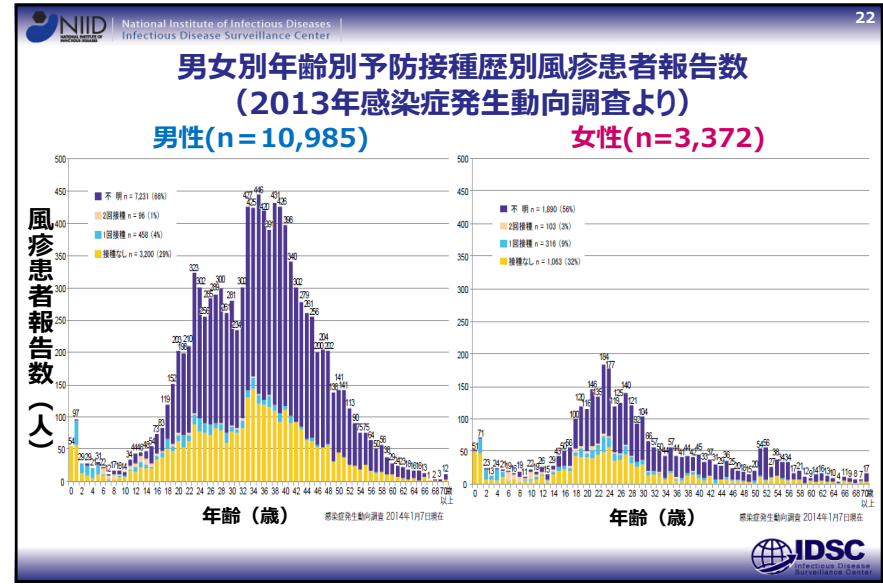
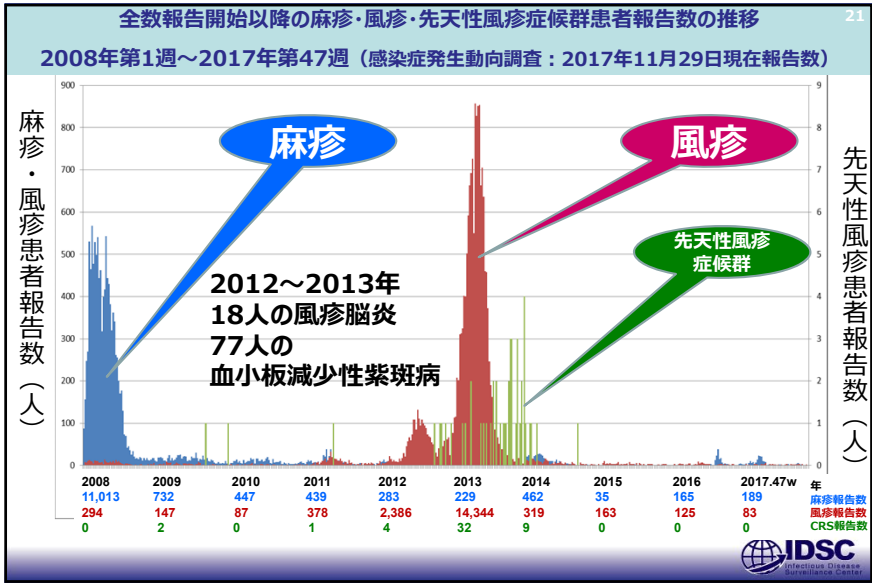
風疹の報告数が多い国 (2016年) : トップ20 WHOホームページより

国名	2016年	国名	2016年
インド	8274	ギニア	289
中国	4535	ウガンダ	289
インドネシア	1238	トーゴ	276
スーダン	996	コンゴ民主共和国	204
南アフリカ共和国	819	マダガスカル	204
ネパール	656	コートジボワール	192
パキスタン	648	エチオピア	184
ナイジェリア	503	フィリピン	179
ベトナム	413	バングラデシュ	165
ケニア	331	ウクライナ	150

NIID Infectious Disease Surveillance Center







TRAVELERS' HEALTH TRAVEL SAFE. TRAVEL SMART. 米国CDCホームページより

Rubella (German Measles) in Japan 日本の風疹

Warning - Level 2, Avoid Preconceptional Travel
Alert - Level 2, Practice Enhanced Precautions
Watch - Level 1, Practice Usual Precautions

Released: June 19, 2013 2013年6月19日

風疹ワクチン接種や、過去の風疹罹患によって、
風疹の予防ができていない妊婦は、
この流行期間中は日本に渡航するのを避けるべきである。
これは特に妊娠20週までの妊婦で重要！！

CDC recommends that all travelers to Japan protect themselves from rubella by being up-to-date on their rubella vaccine. Pregnant women who are not protected against rubella either through vaccination or previous rubella infection should avoid traveling to Japan during this outbreak. This is especially important during the first 20 weeks of pregnancy. (See box on advice for pregnant women).

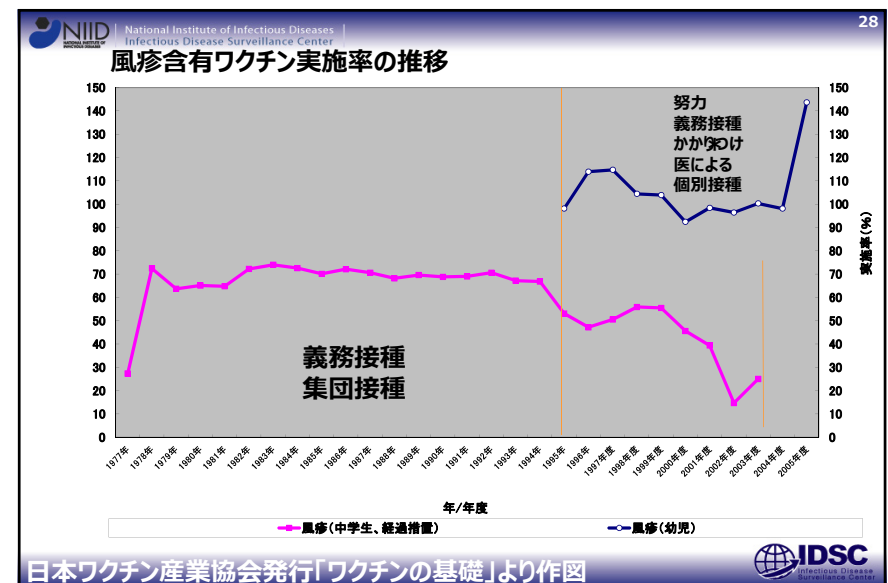
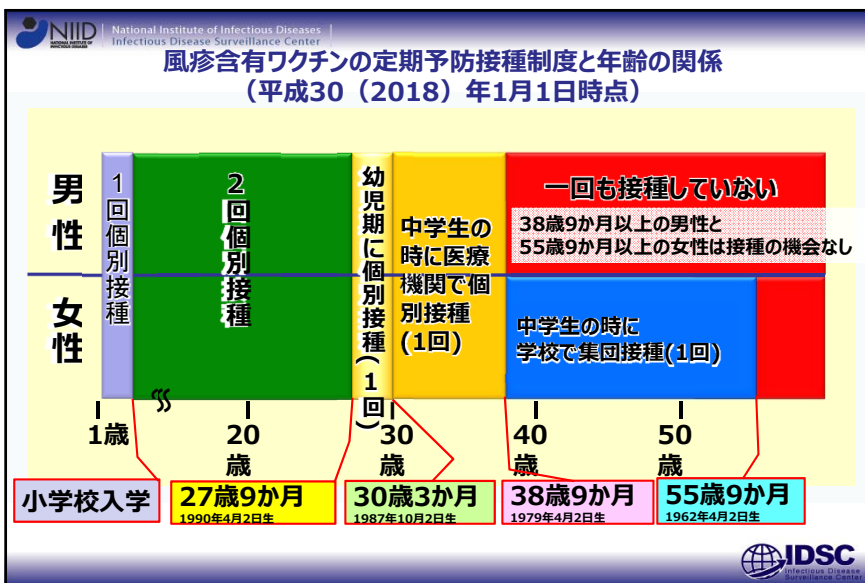
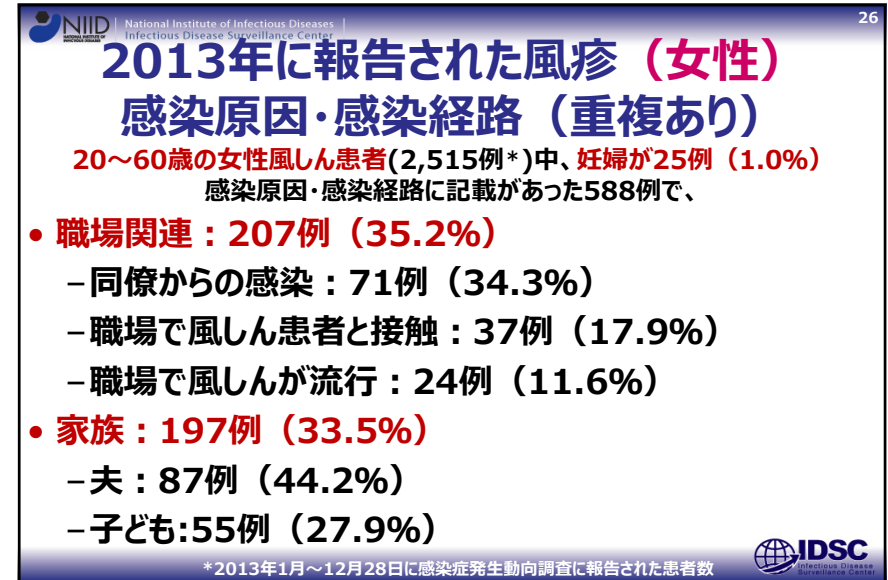
NIID National Institute of Infectious Diseases Infectious Disease Surveillance Center 24

年齢群別感染源・感染経路
(不明、未記入を除く、一部重複あり)

	0～5歳	6～12歳	13～19歳	20～59歳	60歳以上
第1位	父	父	友人・知人	職場	子ども
第2位	保育所	兄	学校	友人/知人	職場
第3位	母	姉	兄	子ども	夫・孫
第4位	友人・知人	学校	父	夫	施設
第5位	家族 (詳細不明)	弟	職場	通勤・電車	電車・妻

(感染症発生動向調査より)

IDSC

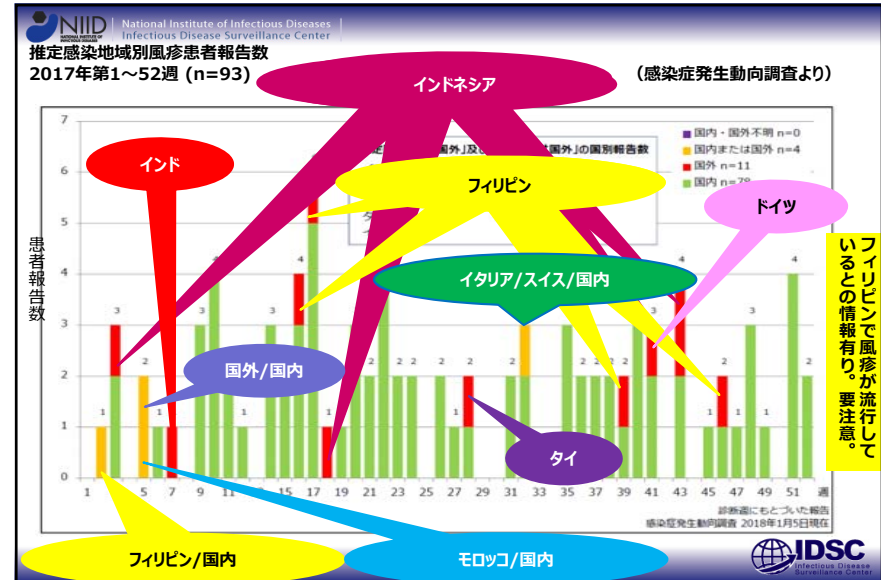


職場における 風しん対策ガイドライン 37

表1：風しんの予防接種が望まれる対象者（予防指針を一部引用）

状況	風しんの予防接種（過去の接種を含む）
① 本人が妊娠を希望している。	非妊娠期に風しんの予防接種を2回することが望ましい*8。
② 職場・家族に妊婦・妊娠出産年齢の者がいる。	風しんの予防接種を少なくとも1回する。
③ 海外出張又は国内の流行地への出張を予定している。	
④ 公共施設等多数の者が利用する職場に勤務している。又は業務上外部者との面会の機会が多い。	

※8：風しん含有ワクチンの1回の接種による抗体の獲得率は約95パーセント、2回の接種による抗体の獲得率は約99パーセントとされていることから、妊娠を希望する女性等においては、2回の接種を完了することで、より確実な予防が可能となる。



NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center 39

渡航前・職場の風疹対策

● 風疹に対する免疫を保有しておいて欲しい職種

- 医療関係者
- 保育関係者
- 教育関係者
- 多数の人と接触する職場に勤務する人
- 海外から渡航する人々と接触が多い職場に勤務する人
- 事前にリスト（記録に基づくワクチン接種歴と罹患歴）を作っておくといざというときに役立ちます！！
- 明日患者さんが発生した時にすぐ使えるように・・・

NIID National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center 風しんに関する特定感染症予防指針より引用抜粋

予防接種法に基づかない予防接種の推奨

下記の内、罹患歴、予防接種歴のいずれも確認できない者

- 妊娠を希望する女性
- 抗体を保有しない妊婦の家族等
 - 昭和37年度から平成元年度に出生した男性
 - 昭和54年度から平成元年度に出生した女性
 - 特に、昭和62年度から平成元年度に出生した女性は抗体保有率が低い
- 医療関係者
- 児童福祉施設等の職員
- 学校等の職員
- 海外に渡航する者
- 妊娠中の妊婦健康診査において風疹の抗体検査の結果が陰性又は低抗体価と確認された者（産よく早期に接種）
- 業務により海外に渡航する者
- 昭和37年度から平成元年度に出生した男性の従業員
- 昭和54年度から平成元年度に出生した女性の従業員
- 学校の児童生徒等
- 医療・福祉・教育に係る大学及び専修学校の学生及び生徒

NIID National Institute of Infectious Diseases | Infectious Disease Surveillance Center

—2018年2月“風疹ゼロ”プロジェクト—

1. 海外にでかけるなら風疹の予防と万全の対策を！
2. 海外から帰国後の体調異変はもしかしたら風疹かも！診察をうけてから職場へ
【海外から家庭や職場へ風疹が持ちこまれて流行の要因となっています。渡航の際は万全の風疹予防対策、また帰国後は風疹発症リスクに対する適切な対応策をとってください。】
3. 30～50代の男性は風疹に対する抗体を持たない人が多く、ぜひMRワクチンを接種してください（かかりつけ医、職場健康相談で尋ねてください）
4. 妊娠を考えているおふたりへ
風疹対策は大丈夫ですか？ 予防接種は妊娠前に忘れずに！
【妊娠20週頃まで（主に妊娠初期）に風疹ウイルスに感染すると胎児が先天性風疹症候群になるおそれがあります】

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases | Infectious Disease Surveillance Center

海外渡航で検討する予防接種の種類目安 使用するワクチンは麻疹風疹混合ワクチン
ここに風疹を入れてもらえないか相談中

厚生労働省検疫所 FORTHホームページ

地域及び滞在期間	黄熱	ポリオ	麻疹 ¹	日本脳炎	A型肝炎	B型肝炎	狂犬病	破傷風
東アジア	短期		◎					◎
東南アジア	短期		◎	○	◎		○	◎
南アジア	短期		◎	○	◎		○	◎
中近東	短期	○	◎	○	◎		○	◎
太平洋地域	短期		◎	○	◎		○	◎
オセアニア	短期		◎					◎
北アフリカ	短期		◎	○	◎		○	◎
中央アフリカ	短期	●	◎	○	◎		○	◎
南アフリカ	短期		◎	○	◎		○	◎
北・西コ ロシア	短期		◎					◎
東ヨーロッパ	短期	○	◎					◎
南ヨーロッパ	短期		◎					◎
ロシア	短期		◎	○	◎		○	◎
北米	短期		◎					◎
中南米	短期	●	◎	○	◎		○	◎

◎ 黄熱に感染するリスクがある地域
○ 予防接種をおすすめしています
● 局地的な発生があるなど、リスクがある場合に接種を検討してください
【注1】今までの2回接種の既往がない方、もしくは接種既往が不明の方に予防接種をおすすめしています。
麻疹についての詳しい情報は厚生労働省からの情報もしくはWHOのホームページをご参照下さい。
【注意】長期とは、およそ1か月以上の滞在する場合です。冒険旅行は短期であっても長期に含めます。

NIID National Institute of Infectious Diseases | Infectious Disease Surveillance Center

2月4日は風（ふー）疹（しん）（ゼロ）の日 麻疹とともに風疹予防をわすれないで



2月は “風疹ゼロ”月間

受けるワクチンは必ず麻疹風疹混合（MR）ワクチンで！！


IDSC Infectious Disease Surveillance Center

NIID National Institute of Infectious Diseases | Infectious Disease Surveillance Center

日頃より、感染症発生動向調査、 感染症流行予測調査にご協力いた だいている、関係者の皆様に感謝いた します

2月4日は風疹（ゼロ）の日、風疹 ゼロプロジェクトを進めましょう！

ご清聴ありがとうございました



IDSC Infectious Disease Surveillance Center